

池田 温

九八頁

劉進寶著

唐宋之際歸義軍經濟史研究

戸（問題的提出・史籍文献中的
大戸与小戸・敦煌の
大戸与小戸） 二三頁

第一節

地子（地子・与地稅・地子の徵納方式・地子の稅率）

第二節

官布（P.三三三六号《壬申年官布籍》時代考〔文書錄文的說明・研究中的有關問題辨析・壬申年応為九七二年〕・官布の徵納方式和稅率） 二〇頁

第三節

稅草（稅草の徵收原則和稅率・稅草の徵收・管理機構・附錄：唐五代「稅草」所用量詞考釈） 二〇頁

第四節

稅柴（S.三七二八号文書提供的啓示・稅柴の徵收原則・稅柴の徵納方式・稅柴の徵收機構） 二六頁

第五節

商稅和戶稅（商稅・戶稅） 一九頁

歸義軍政權的稅率与賦稅制的特点（歸義軍政權的稅率・歸義

軍賦稅制的特点（賦稅的徵收以土地為拠・賦稅主要以鄉為單位徵收・賦稅的徵收由「某頭負責」・賦稅制度既与中原王朝的制度有一致性・也有自己的特色）

第三章

徭役

第一節

P.四五二五《官布籍》所見的徭役及其賦稅蠲免〔都官・都頭・牧子・打窟〕 一二頁

第二節

歸義軍時期的音声人及其賦役徵免 七頁

第三節

取二二四九号《欠柴人名目》中的賦役蠲免〔酒戶・烽子・門子・庁子和堂子〕 一三頁

第四節

唐五代的「單身」及其賦役徵免（「單身」与「一身」・歸義軍時期「單身」的賦役徵免） 一四頁

第五節

戶役

歸義軍賦役徵免与晚唐五代中原王朝的制度（分番執役・上番免賦・土地与免賦的關係） 三頁

第六章

第四章

敦煌的種植業

第一節

唐五代敦煌棉花種植說質疑（問題的緣起・「縹」字的發展變化・「縹・縹」的別一含義——毛布或毛績品・官布是棉布嗎？・唐五

一〇頁

第二節

唐五代敦煌種植「紅藍」研究（取二二六八号文書中的「紅藍」・紅藍的伝入及用途・敦煌的紅藍種植及使用） 二八頁

作者已發表与本課題有關的學術論文（二五篇） 二頁

主要參考書目 二頁

後記

三頁

目次は漢文・英文兩種をそなえるが、全体の索引はない。既發表の二五篇の論文の内容は修訂をへて本書にすべてとりこまれており、著者の博士学位論文『歸義軍賦稅制度研究』（二〇〇一年五月、姜伯勤・楊際平・榮新江・郝春文・祝總斌・陳明光・熊鉄基・李文瀾・陳国燦・凍国棟等参加公開審査）とその後国家社会科学基金の資助を得て完成した『歸義軍經濟史研究』――

唐宋之際経済的伝承と演変」(二〇〇六年二月)に更に諸專家(張弓・李正宇・蔣維崧・朱雷)の意見を参照し、正式に出版されたのである。はじめ学位論文執筆の際には『帰義軍賦税・土地制度研究』を意図したが、指導教授朱雷先生から土地制度の部分の未熟を指摘され、はぶいたと後記に記されている。

以上を通じて今日の中国学位制度がいかに厳格に励行され、学術成果の出版に周到な配慮がめぐらされているか、強く印象づけられよう。

引言で帰義軍期(八四八―一〇三六年)の敦煌(沙州)の人口約六千戸、三万余人、耕地四十五万畝、農民一人平均十五畝と推定するに始まり、各種賦税から徭役、商税に至る公課を文書断片を入念に検討し復原する本書によって、読者は当代の税役についてかなり明確な概念を得られるであろう。著者を中心に学界の総力を結集してその実現を可能とした中国敦煌学界に心から敬意を表したい。

巻末に列挙された敦煌吐魯番文献及其他資料をみると英蔵・法蔵・俄蔵敦煌文献

以下めばしい影印本は網羅されており、根気よく通覧して必要な文書を検出した著者の努力に頭がさがる。

最後に望蜀の言をのべると、近人論著に単行本を挙げて学報論文等に及ばなかったのは遺憾で、研究の第一線は一般には学術誌の論文によってになわれている。本書の主題に関連する鄭炳琳氏の諸論文(『晚唐五代敦煌貿易市場的物価』、『敦煌研究』一九九七年三期)等多篇等が掲出されていれば、本書の利用価値は一段とたかまつたであろう。外国の単行本にもERIC TROMBERT氏の敦煌の貸借に関する專著のような有益なものが少くない。

他方『全唐文』を参照するのは当然ながら、例えば二二六頁①の僖宗(南郊赦文)では『唐大詔令集』を併挙するように、二二八頁①の玄宗の(安養百姓及諸改革制)は『文苑英華』卷四三三に引く内制等(『唐代詔勅目錄』二三四頁参照)を併載するのが望ましい。

(いけだ・おん 東京大学・創価大学名誉教授)

中国発行の日本語月刊総合誌

人民中国

People's China 12月号

人民中国雑誌社 定価400円(税込)
[年間購読料4800円(税込)]

『グラビア特集』

喜怒哀楽の2008年『文化・科学』

タクラマカン砂漠から大量に出

土・中国最古のミイラと判明(連載)

大メコンに生きる⑥人間と象がおりなす物

語◆太極拳よもやま話⑪武式太極拳の「起承開合」◆中国茶文化ぞろ歩き

⑫陸羽茶道の復元◆慈覚大師円仁の足跡を訪ねて⑭円仁の帰還(最終回)◆茶馬古道の旅⑮国境の鎮に到着◆わたしの一日⑮パンダ飼育員 宝芝さん◆映画のセリフで学ぶ中国語⑯さくらんぼ母ときた道(櫻桃)◆@chinaわたしと中国・五輪ボランティアで日中の架け橋に◆特別付録・2009年カレンダー

『人民中国』は中国で編集・発行される日本語雑誌です。政治、社会、考古、歴史、美術など幅広い分野の最新情報を満載。
ご希望の方に見本誌お送りいたします。

☎03(3937)0300 東方書店